

本庄高校新聞

編集・発行
埼玉県立本庄
高等学校
新聞部
印刷：ポプラ社

321号

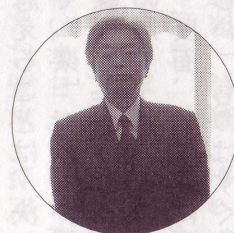
進路指導主任

塚田聖明先生

卒業生に贈る言葉

校長

森一夫先生



卒業生に贈る言葉

「ひと雨ごとに春が来る」と昔の人は言いました。自然界が春を準備しているこの時期の雨は、四季の国日本にはなくてはならない大切なものです。卒業生のみなさん、卒業おめでとう。皆さんがこれから生きていく社会は非常に変化の激しい社会です。進化論で有名なイギリスの自然科学者ダーウィンの言葉を贈ります。『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。』変化に対応していくためには何が必要なのでしょう。それは「生涯学び続ける力」です。

教頭

高野庸夫先生

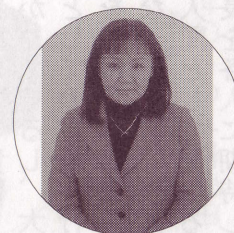


卒業おめでとう！

君たちの人生の中で最も多感な時期と一緒に過ごせたことを光榮に思う。私も四十年前、同じように本庄高校を卒業した一人である。卒業は一つの節目ではあるが決してゴールではない。君たちの前には長く続く道がある。それは決して平坦な道のではない。激しい嵐に遭うこともあれば凍てつく寒さを経験するかも知れない。しかし、本当の喜びを知るためには、辛く苦しい時を過ごすことも大切だ。辛く苦しいときにはそれに感謝しよう。辛苦を恐れず、まっすぐ前を見つめ、はるか遠くにあるゴールを目指して歩いてほしい。

教頭

永田祐子先生



晴れやかな巣立ちに

歴史ある本庄高校の木々には、安らぎを求めて沢山の鳥たちが集います。長く青い尾が印象的で、流線形の美しさを誇る尾長。羽根を広げると凜とした黒色から一瞬にして優雅な白色に変身する鶴鴒。それぞれのさえずりで季節を優しく教えてくれます・・・。三年の月日が経ち皆さんも巣立ちの時が来ました。これから始まる新しい環境で、全力をかけて達成感を味わってください。訪れる鳥たちのように、自信に満ちた皆さんの声が聴けることを心待ちにしています。『まっすぐな君に幸多かれ・・・』エールを送ります！

卒業生へ

卒業おめでとう。

これから各々の道に進んでいくわけですが、今まで以上に様々なことに興味・関心を持つてほしいと思います。有権者として政治・経済・社会はもちろん文学・芸術・歴史・科学・スポーツなど、あらゆる分野の教養を身につけて、感性豊かな人になってほしいと思います。そして一時的感情や周囲の雰囲気にならずに、批判精神、自分の考えを持ち、行動できる人になってほしいと思います。平和な社会をつくっていくのは一人一人の力です。

学年主任

門倉秀幸先生



前に進み続けよう！

卒業おめでとう！

ございます。

皆さんと修学旅行で行った北海道では、クラーク博士が「Boys, Be Ambitious!」という言葉を残しました。昨年(二〇一七年)一〇五歳まで現役の医師を務めて亡くなられた聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生は、結核、戦争、ハイジャック、地下鉄サリン事件など数々の経験をされながら、常に医療改革に尽力されました。名言も多く、高年齢でありながら「Keep on going!」と言われていきます。つい楽な道を行きたくないですが、皆さんも、ぜひ前進し続けてください。私も頑張ります。

学年副主任
山本康夫先生

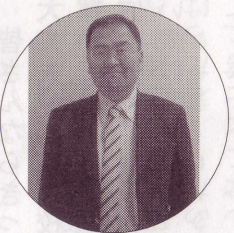


「感謝」

私は、今年五回目の年男です。つまり六十歳で定年を迎えます。バレーが大好きで、高校で部活指導がやりたくてスタートした教員生活です。多くの先輩や仲間、さらに本当にたくさんの教え子達に一人

前に育ててもらったなと思っています。今更ながら、感謝です。生徒や保護者の理解と協力、同僚や先輩の助言と励まし、そして何より、私の家族の応援が原動力だったと思います。今まで本当にありがとうございました。卒業生の皆さん、これからたくさんの人々と出会って、輝かしい将来に一步步つ歩んで下さい。

一組
担任 飯森達也先生



十年先を見る

高三最後の英語の

授業。担任でもあった恩師は、受験目前の生徒達を見回して「十年先を見て生きる」という短いメッセージを下された。以来時折思い出し、その先生の意図を想像してきた。大人になり「もしかして蹉跌(つまずき)のやり過ぎし方を言っていたのかな」と思いあたった。入試、恋愛、就職など、僕は目の前の成功に心を浮き立たせ、時に失敗し打ちのめされる。しかし十年先は

未知だから今の感情に囚われることなく、立ち上がって歩いていける余地がある。十年先に帳尻を合わせると思えば、回り道もありだ。ルック・フワード卒業生。

副担任

西尾信一先生



可能性は無限大

大学時代の音楽サー

クルで出会った人の中には、ヒット曲を量産する人気作曲家になった人、その分野で国内企業最大手の社長になった人がいる。担任をした教員の中には、政治家を志して市長になった人、同じ埼玉県の教員になり国立教育政策研究所の研究官を経て大学教授になった人がいる。

「あきらめて頑張れ」この題名おかしいなと思っていますね。あるとき、この「あきらめる」という言葉は「明らかに見る」からきている(他にもいろんな説があるそうです)ということとを聞きました。普通「あきらめる」は「諦める」と書いて「望みを捨てる」というような意味に使いますよね。そのような意味で考えて「その望みは無理なので方向転換して頑張れ!」と解釈してもらってもいいし、「今の望みをしっかりと見据えて頑張れ!」ととってもらってもいいと思います。卒業生のみなさんあきらめて頑張れ!

副担任

二瀬賢治郎先生



生きる力を磨こう
卒業おめでとう。
永遠に続くように感

二組
担任 関口義昌先生



じた温室のような本高ともこれでお別れです。新たな道がスタートします。皆には、是非生きる力を磨いてほしいと思っています。様々な困難がこれから的人生に待ち構えています。それを乗り越えることができるのは、最終的に自分の力です。情報過多の現在、その情報に踊らされて誤った道に進むかもしれない。何が正しいのか。それは、膨大な資料を集め分析し考察し、自分の生きる道に何がふさわしいかを判断できる力です。頑張つて是非身に着けてください。素晴らしい人生にならないことを!

三組

担任 畠山拓也先生



卒業おめでとう

「ございます」

ちようど三年前、人生初めて担任としてクラスを持てることが決まった。様々な文書に、担任として自分の名前が記されていることが本当に嬉しかった。入学式でする呼名はお風呂で何度も練習した。



年を取ると変化が怖くなる。新しいものが億劫になる。頭が固くなる。体も硬くなる。君たちには、いつまでもヤバくいて欲しい。ありよりのありでいて欲しいと、切に願う。

卒業、おめでとう。

副担任

猪野徹先生



ムジョウという事

「甘えてはいけない時に情けは無い」中島みゆき「慕情」

という曲でこの言葉を耳にした時、ドキッとしてしまった。時は無常とばかり思っていたからです。

個人の心情や事情とは無関係に時は情け容赦なくやってくるものなのですね。

皆さんもこの時期を迎えて実感していることでしょうか。出合いも別れもその、時の中で一場面。心して一時一時を過ごしていきたいもの。

そういえばムジョウには無上という字もありました。そこで

「時は無上」と。無常・無情な時だからこそ、無上のものとしたいですね。

七組

担任 高橋功子先生



卒業おめでとう

僕は知ってるよ

誰よりも君が一番

輝いている瞬間を夢を追う君へ

思い出してくじけそうなら

いつだって物語の主人公が立ち上がる限り

物語は続くんだ

平昌オリンピックNHKテーマソング「サザンカ」の歌詞の一部です。

本庄高校で過ごした三年間、皆さんは部活や行事、そして受験勉強に熱く打ち込んできました。そんな頑張りを、私も間近で応援してきました。サザンカの花言葉は「困難に打ち勝つ」です。

皆さんならきっと大丈夫。本庄高校で輝いていた瞬間を自信に変えて、夢を追いつけて下さい。

副担任

黒沢恵介先生



一学一笑

ついに卒業ですね。

本庄高校での一〇九五、どう過ごしたでしょうか。どう過ごそうとしたでしょうか。時間はある意味では冷酷に、確実に過ぎ去っています。皆さんに残された時間は多いですが、今

も減っています。

有意義な人生には毎日小さな目標を達成するのが一番です。

そこで私は、最低でも一日に何か一つ学び、何か一回笑うことにしています。例えば今日は、イヌはネコ目イヌ科イヌ属に分類されると学びました。また、早朝

雪が降り視界も悪い中で出勤中、車で道路工事現場にさしかかると、ライトを振る警備員さんの姿が。雪の中ご苦労様です。と思い軽く会釈すると、棒を振る機械と看板でした。自分では笑いました。

これからの将来、皆さんの人生が、学びあり、笑いありの良きものになることを心からお祈り申し上げます。

八組

担任

内田悦郎先生



幸多かれ

人は出来るものなら

幸せな人生を送りたいと思います。しかし「幸せ」な人生像は人それぞれで、学生から社会人へ、更に人の親になったり大切な人を失ったりしても変わります。辛く苦しい体験と引

換えに、ささやかな

幸せを愛おしむ力を手にすることもあります。

さて皆さんは何を以て「幸せ」としますか。

副担任

寺園和仁先生



卒業おめでとう

考查最終日、階段を下りる君達を見て、

自分が同じようにこの階段を下りた日の気分を思い出した。空が青く、本庄の冬のらしい天気だったことを憶えている。

私は本高が五つ目の赴任場所だが、先の四つのうち二つは既に存在していない。

子供の数が減少していく今、高校の数は更に減るだろう。

だが、本高はなくなり、日本学制が根本的に変わるような事態が起こらない限りは、君達も

いつか、教員、保護者、或いは他の何かとしてここに来た時、

自分がこの階段を下りた時の気持ちを思い出すだろう。

それは実は幸せな事なのかもしれない。

編集後記

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。困ったとき、つまづいたときいつも助けてくれたのは先輩方でした。これから優しく、あたたかい先輩方でいてください。本当にありがとうございます。

一、二年生の皆さん、一年が終わろうとしています。新歓ハイクに始まり、体育祭、文化祭など様々な行事を通して、新しい仲間も楽しい思い出もたくさんできたと思います。もうすぐ二年生は受験への一年が始まります。一年生は後輩を迎え、部活動の中心になります。気持ち新たに、充実した一年間を過ごしましょう。

最後に、一年間「本庄高校新聞」を読んでもくださってありがとうございました。来年度もよろしく願います。なお新聞部では部員を大募集中です。まずは見学だけでも来てください。待っています。

